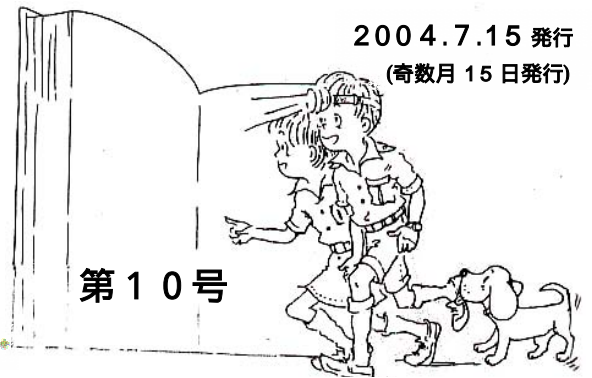


にのみやまちとしょかん 図書館だより

第10号



8月13日から開催されるアテネオリンピックに向けて、オリンピックムードが日に日に高まっています。4年に一度のオリンピックイヤーを、おもいきり楽しみましょう！

特集 オリンピック！

今回の特集では、オリンピック競技に関する本を競技別に紹介してみました。(カッコ内は請求記号・著者名・出版年) 7月中は、図書館入口の展示テーブルでもオリンピックをテーマに展示していますので、併せてご覧下さい。



陸上

- 『織田幹雄 - わが陸上人生 - 』 '28 アムステルダム
(782オ / 織田幹雄著 / 1997)
～ オリンピックの三段跳びで、日本初の金メダルを受賞。
- 『風になった日』 '00 シドニー
(782.3タ / 高橋尚子著 / 2001)
～ マラソンで優勝したQちゃんこと高橋尚子の自伝。
- 『十字架の男 - ベン・ジョンソン - 』 '88 ソウル
(782.3ジ / 山本茂著 / 1989)
～ 現代オリンピックの墮落を追求するノンフィクション。



柔道

- 『初恋金メダル - 田村亮子栄光への道 - 』 '00 シドニー
(789.2タ / 西日本新聞社編 / 2000)
～ 小学校で柔道を始めた田村亮子の感動と涙の物語。
- 『古賀稔彦 - 世界を獲った男、その生き方 - 』 '96 アトランタ
(789.2コ / 古賀稔彦著 / 2001)
～ ソウル、バルセロナ、アトランタ五輪に連続出場した古賀の自伝。



サッカー

- 『ゴールの軌跡 - 釜本邦茂自伝 - 』 '68 メキシコシティ
(783.4カ / 釜本邦茂著 / 1981)
～ オリンピックで得点王に輝いた、名選手釜本の自伝。
- 『28年目のハーフタイム』 '96 アトランタ
(783.4カ / 金子達仁著 / 1999)
～ 日本サッカーの苦悩に肉迫するスポーツドキュメンタリー。



レスリング

- 『子供を金メダリストにする本』 '84 ロサンゼルス
(788.2ト / 富山英明著 / 1996)
～ オリンピックの原点であるレスリングで基礎体力をつけよう。



トライアスロン

- 『シマトラ日記 - 七つの海とトライアスリートの物語 - 』
(782.6シ / テレビ朝日事業局出版部編 / 2000)
～ 「シマ=島」で行われる「トラ=トライアスロン」の記録とガイド。



オリンピック全般

- 『あの一言はすごかった！スポーツ編』
(159.8ア / 後藤忠弘編著 / 2002)
～ 記憶に焼きついて離れない、スポーツの名言を収録。
- 『朝日新聞の記事に見るスポーツ人物誌 - 明治・大正・昭和 - 』
(780.2ア / 朝日新聞社編 / 1999)
～ スポーツ史を彩る選手の記録から「時代とスポーツの関係」を読む。



バレーボール

- 『天才セッター中田久美の頭脳(タクティクス)』 '84 ロサンゼルス
(783.2ニ / 二宮清純著 / 2003)
～ 中田久美と二宮清純のスポーツ・ジョイント・ノンフィクション。
- 『甦る全日本女子バレー - 新たな闘い - 』 '04 アテネ
(783.2ヨ / 吉井妙子著 / 2004)
～ アテネへ向かう柳本ジャパンの全貌に迫るドキュメント。



水泳

- 『ドルフィン・ピープル』 '88 ソウル
(785.2コ / 小谷実可子著 / 1998)
～ “イルカに近い人間”、シンクロの小谷実可子のエッセイ集。



ソフトボール

- 『努力は裏切らない』 '00 シドニー
(783.7ウ / 宇津木妙子著 / 2001)
～ 日本チームに銀メダルをもたらした宇津木監督が指導法を語る。

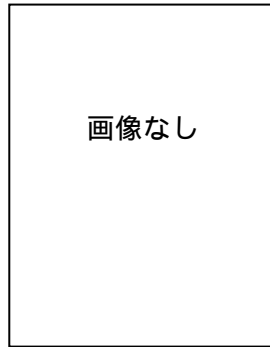


ボクシング

- 『モハメド・アリの道』 '60 ローマ
(788.3ア / デイヴィス・ミラー著 / 1997)
～ アリと周りの男たちの人生を綴ったノンフィクション。

展示テーブルから

熱い情熱を抱き、使命感に燃えて戦後の画期的な事業を実現させてきた無名の日本人を主人公として紹介しているプロジェクトX。「プロジェクトX 挑戦者たち16 - 開拓者精神、市場を制す -」(NHK出版/210.7p)では、昭和39年に開催された東京オリンピックの舞台裏で、世界90ヶ所以上の国々から参加した7000人の選手たちのために、試行錯誤の末料理を作った料理人たちの挑戦が紹介されています。



当時日本の料理界の力は未知数と世界各国から不安の声が挙がる中、それに挑みオリンピックを支えた300人の料理人たち。華やかなオリンピックの舞台裏での料理人たちの知られざる料理作りを描いています。今再び新たなチャレンジを迫られている21世紀を生きる私たちにも、挑戦する勇気を与えてくれる本です。

図書館では、この本のシリーズ21巻とビデオ5巻を所蔵しています。あわせてお楽しみ下さい。

新しく入った本 CD ビデオ

映像 ビデオ

『ガチャピン チャレンジ シリーズ』

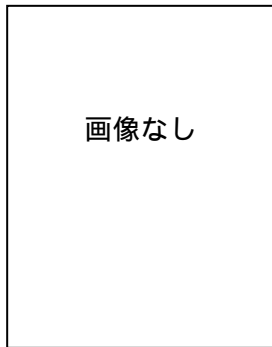
(フジテレビ KIDS / K778ガ)

『てるてる坊主てる坊主

ふるさとの歌がきこえる「わらべの歌」-

(小原直写真 / ピエ・ブックス / 748オ)

本



道端でみかけた季節の花、年毎に繰り返されるゆかしい行事の数々。心を揺さぶられるその瞬間、ふっと唇にのぼる歌が愛唱歌と呼ばれるものでしょう。この本で紹介された歌は、誰もが一度は耳にし、口ずさんだ事のある、優しく愛しいものばかりです。

50~70代の方が選んだ、子供の頃に歌った懐かしい「わらべの歌」ベスト40曲。A4版程の本の見開きの一方には、歌にちなんだ魅力的な写真が載せられ、歌の世界を更に広げています。また、その歌が作られたときの時代背景や、意外な事実の解説にあらためて感心させられ、共感を呼び起こされます。

すたれ消えていく歌が多い中で、本当に良い歌は祖母から子、孫へ、更にその子供達へと唄い伝えられていて欲しいものです。

あなたの“ふるさとの歌”は何ですか？

画像なし

「ひらけ！ポンキッキ」の放送開始以来、毛むくじらのムックとともに活躍する人気キャラクター、ガチャピン。30年間に渡るガチャピンのチャレンジが一本のビデオにまとめられました。

日本中を驚かせてきたガチャピンの、陸海空を問わずに活躍する勇姿が画面いっぱいに広がります。スキー、モトクロス、サーフィン、ハンググライダーなど、失敗しながらもそれにめげる事無く挑戦し続ける姿に、心を動かされ、勇気を与えられた方も多いのではないのでしょうか？大人も子どもも一緒になって楽しめる作品です。

録音 CD

『SOMEDAY MY PRINCE WILL COME』

(THE GREAT JAZZ TRIO/Village Records / 230グ)

1890年頃、南アメリカのニューオリンズを中心に誕生した即興音楽様式で、奴隷として運ばれてきた黒人とヨーロッパ音楽との出会いから自然発生したジャズ。

今回のザ・グレート・ジャズ・トリオは、ハंक・ジョーンズ(ピアノ)、リチャード・ディヴィス(ベース)、エルヴィン・ジョーンズ(ドラムス)の3人。スイング時代に生まれ、

ジャズの進化とともに生きてきた3人の演奏は、完璧に調和された絶品です。

アルバムのタイトルである「いつか王子様が」は映画「白雪姫」の主題歌でお馴染みですが、あの純情可憐なワルツのさわやかな円熟ぶりには感動。また85歳になったハंकのソロ「煙が目にしみる」は、決して乱れることのない流れ、温もり、優雅さがあふれています。

さりげない音量で雰囲気を楽しむにも最適ですが、大音量だとふいに演奏者のハミングが聞こえたりするので、それもまた乙な楽しみ方では。

画像なし

「訓読み」の「訓くん」は、音読み。



昨年引き続き今年も「直木三十五 ゆかりの地を訪ねて・横浜文学散歩」と題して図書館文学講座を開講しました。講師に文芸評論家しまづかつあきの島津勝昭先生をお招きして、5月22日(土)に講義、29日(土)に文学散歩を行いました。



直木三十五の文学碑の前にて

今回は、「直木賞」で知られる大衆文学作家・直木三十五や太平記に登場する青砥藤綱、杉田を舞台にした作品「午後の曳航」の作者・三島由紀夫、中国近代化の父・孫文など、横浜市磯子区杉田や金沢区富岡周辺に関わった人々を取り上げました。

史跡やゆかりの地を巡った29日は好天に恵まれました。陽射しの強い一日でしたが、参加者の皆さんは暑さに負けずに元気に歩かれ、島津先生のお話にメモを取りながら耳を傾けられていました。

ベストオーダー

2004年5月～6月

この期間に予約が多かった本です

【児童書】

- | | |
|-----|-------------------|
| 第1位 | ダレン・シャン 10 精霊の湖 |
| 第2位 | 13歳のハローワーク |
| 第3位 | ハリー・ポッターとアズカバンの囚人 |
| 第4位 | ダレン・シャン 8 真夜中の同僚 |
| " | ダレン・シャン 9 夜明けの覇者 |
| " | エラゴン - 遺志を継ぐ者 - |
| " | ミック! 6 ゴーストハウス |
| " | ミック! 7 たからじま |
| " | ミック! 8 がっこう |
| " | かいじゅうたちのいるところ |

【一般書】

- | | |
|-----|---------------------|
| 第1位 | 世界の中心で、愛をさけぶ / 片山恭一 |
| 第2位 | 冬のソナタ 上 / キムウニ |
| 第3位 | 冬のソナタ 下 / キムウニ |
| 第4位 | 臨場 / 横山秀夫 |
| 第5位 | 半落ち / 横山秀夫 |
| " | 蹴りたい背中 / 綿矢りさ |

二宮ゆかりの人物

『なかよし特急』 / 阿川 弘之

ことしの春のはじめのことです。東京機関区の、特急をひく電気機関車の乗務員のなかには、ちかごろ、「つばめ」や「はと」や「あさかぜ」を運転して東海道線をはしるとき、二宮駅と国府津駅とのあいだのちいさい陸橋の上で、いつも機関車に手をふっている子どもがあることに気がついている人が、なんにんもありました。(『なかよし特急』より)

これは、阿川弘之著『なかよし特急』の冒頭部分です。主人公で二宮駅近くに住む小学5年生の電車の大好きな誠くんは、陸橋近くの土手に止まっていたオート三輪が線路上に転落したのを目撃し、咄嗟の機転で下りの特急あさかぜを止め、惨事を未然に防ぐ手柄をたてます。それが縁でアメリカに招かれる、という内容のおはなしです。文学性に富んだ作品ですが、鉄道や機関車についての知識も豊富に盛り込まれ、写真入り絵本として楽しく書かれています。

作者の阿川弘之氏(1920-)は志賀直哉最後の弟子と言われ、戦争記録文学の世界を築き、『山本五十六』()で新潮社文学賞を受賞しました。一方では乗り物ファンとしても知られ、『小さなきかんしゃ』()シリーズ(グレアム・グリーングレアム・グリーンの乗り物絵本)の翻訳や、絵本『きかんしゃやえもん』()などの作品も手掛けています。

阿川氏が二宮に滞在したのは『なかよし特急』が刊行される3年前、1956年の事です。1年間のアメリカ留学の後、当時川勾の西光寺近くにあった古い大きな別荘を借りての約1年間の生活でした。冒頭に出てくる“ちいさい陸橋”は、現在の川勾橋とされます。長男の尚之さんは新聞のコラムに、「小学校へ上がる少し前、神奈川県神奈川県の二宮という町に1年ほど住んだ。畑のなかの一軒家から国道へ出る途中に東海道線をまたぐ小さな陸橋があって、幼稚園への行き帰りなど、外出するときは必ず歩いて渡った。時間は有り余るほどあったから、私はいつもしばらくここで立ち止まり、列車が通過するのを待つのが習慣であった」(朝日新聞1997.9.8 私空間)と書いています。又、長女の佐和子さんもエッセイ『オドオド

の頃を過ぎて』()に、2歳から3歳の頃二宮に移り住み兄と二人でバスに乗り大磯の幼稚園へ通ったこと、その時代のゆったりとした時間の流れがどれほど好きであったかという事を、思い出として書いています。



『なかよし特急』の挿し絵より



現在の川勾橋から見た様子

この『なかよし特急』は、当時朝日新聞ジュニア版に少年読物として連載され、1959年に中央公論社から刊行されました。その翌年に第7回産経児童出版文化賞受賞、1961年には東映児童劇映画16ミリフィルム(監督山村聡・脚本棚田五郎)で映画化され、東京教育コンクール銀賞となっています。また、二宮に滞在した翌年刊行の『夜の波音』()も「海は眠った町を守るやうに、夜ぢゅう鳴りつづけてみた」と始まり、二宮が舞台とされている作品です。

阿川氏の近著としては、『葎の髄から』()の続編として単行本化された『人やさき犬やさき』()などがあります。「葎の髄から」は、現在も文芸春秋に連載中です。

参考資料 ()は当館所蔵あり / 昭和文学全集21(小学館/1987/918.6シ) / 日本の文学(中央公論社/1969/918.6ニ75) / 月刊日本児童文学(昭和34年6月号) / 最新文学賞事典(日外アソシエーツ/1989/R910.2ニ) / 名作シナリオ集キネマ旬報別冊S34年11月号 / 日本短編映像秀作目録(映像文化製作者連盟/1999/R778.7ニ) / 映画年鑑1963年版(時事映画通信社)

利用者の声 Q&A

Q：放送中の雑誌「NHK きょうの料理」は、次号が出ると貸出になってしまうが、放送が終わる月末まで、図書館で見られるようにしてほしい。

A：基本的に二宮町図書館では、月1回発行の雑誌は、最新号が棚に並んだ時点で、前号の貸出をしています。「NHKきょうの料理」については、放送中も閲覧できるようにしてほしいというご要望がありましたので、検討した結果2004年7月号より、放送月の号は月末まで1階カウンターで、取り置くことになりました。ご覧になりたい方は、「書庫内資料閲覧申し込み用紙」にご記入の上、カウンター職員にお出しいただき、貸出は、放送月の翌月からになります。なお、予約につきましては、従来通りです。

お知らせ・お願い

課題図書のお知らせ

<夏休み期間中(～9月上旬まで)の課題図書の貸出について>
例年夏休み期間中に課題図書の利用が集中します。期間中、スムーズに利用されるよう、以下の様にさせていただきますので、ご協力お願い致します。

貸出は一人につき一冊、一週間以内とします。

原則として、課題図書として使用される小中学生の利用を優先します。

配架場所は児童展示テーブルです。貸出中の場合は予約をしてください。

戻り次第ご連絡します。

連絡がありましたら、1～2日以内に借りに来てください。

夏休みの館内利用について

夏休みは児童・生徒の利用が増え、館内の騒音が予想されます。利用者の皆様に気持ちよく利用していただくためお互いにルールやマナーを守りましょう！

図書館臨時学習室の実施について

今年もラディアン展示ギャラリーで、下記の日時に開室します。ご利用ください。

ただし、8月は会場の都合により開設しませんので、ご注意ください。

日程：7/22(木) 23(金) 25(日) 27(火)～29(木)の6日間

時間：平日 9:30～19:00 土日祝日 9:30～17:00

雑誌のリサイクルコーナー 開始時間変更について

今までは開館と同時(9時30分から)でしたが、9時45分からに変更になりました。なお、危険防止の為、整列順に選んでいただいています。

特別企画展「本が泣いています！」のお知らせ

残念なことです。特に最近、破られたり、切り取られたりした本・雑誌・新聞が多く見られるようになりました。その事実を皆さまにお知らせし、資料の大切さを伝えたいと思い、展示を企画しました。ぜひご覧下さい。

展示期間：7/22(木)～8/29(日) 展示場所：ラディアン図書館入口

行事

くわしくはお問い合わせください。

ちいちゃいおはなし会

7月 14日(水)

8月 4日(水)

9月 8日(水)

おまけのおはなし会

おはなし会とおりがみあそび

7月 17日(土)

8月 21日(土)

9月 18日(土)

わらべうたであそぼう！

7月 16日(金)

8月 27日(金)

9月 17日(金)

雑誌のリサイクルコーナー

7月 25日(日)

8月 22日(日)

9月 19日(日)

展示テーマ

6月

一般 / 『石の魅力 石のふしぎ』

一般特設 / 『金田一春彦氏をしのんで』

児童 / 『あそぼう！えほん』

A V / 『神奈川を歌う 神奈川から歌う～御当地ソング&神奈川出身アーティスト』

7月

一般 / 『オリンピック！』

児童 / 『オリンピックの夏が来る』

『課題図書&小・中学生にすすめたい本』

ひとつだけ ～編集後記にかえて

桃、びわ、スイカ。みずみずしい果物がおいしい季節です。果物のことを「水菓子」とも言いますが、「水菓子」と呼ぶとなんだか涼しげで、この時期の果物にぴったりな感じがします。そう思って何気なく語源を調べてみると、実は「菓子」という言葉がもともとは果物のことをさす言葉として使われていたとのこと。常食の他に口にすると嗜好品「菓子」の形が時代とともに変化していった結果、果物のほうを「水菓子」と呼ぶようになったようです。よく冷えた旬の水菓子を食べ、暑い夏を元気に過ごしたいものです。